

文部科学省特別経費「大学の特性を活かした多様な学術研究機能の充実」
(プロジェクト分)

附置研究所間アライアンスによるナノとマクロをつなぐ
物質・デバイス・システム創製戦略プロジェクト
(ナノマクロ物質・デバイス・システム創製アライアンス)
平成26年度成果報告会 開催報告

「ナノマクロ物質・デバイス・システム創製アライアンス」平成26年度成果報告会を2015年4月21日(火)に九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)ホールで開催した。北海道大学、東北大学、東京工業大学、大阪大学、九州大学のアライアンスメンバーを中心に171名が参加した。産業界からの有識者として井上喜株式会社 井上良弘顧問、同仁化学研未来技術開発室 大内雄也常務付主任、黒田孝二氏(元大日本印刷株式会社理事)、帝人株式会社 近藤史郎フェロー、三菱化学株式会社 瀬戸山亨執行役員フェローをお招きして、本アライアンス事業に活動についてご意見を賜った。

成果報告会は9時30分より、当報告会の当番研究所である九州大学先導物質化学研究所・高原淳所長による開会挨拶に始まり、九州大学 若山正人理事から来賓の挨拶を賜った。ついで、平成26年度アライアンス運営委員会委員長の東北大学多元物質科学研究所・垣花真人教授によるアライアンス事業の概要と平成26年度活動の全体説明がなされた。その後、次世代エレクトロニクスグループ(G1)、新エネルギー材料・デバイスグループ(G2)、医療材料・デバイス・システムグループ(G3)、環境調和材料・デバイスグループ(G4)から、グループリーダーによる各グループの活動報告及び代表メンバーによる共同研究の成果報告がなされた。昼食時には、アライアンスメンバーにより、G1からG4の各グループから各20件、合計80件のポスター発表がなされ、フロアでの活発な討論が行われた。また、並列して産業界からの有識者との意見交換会も開催され、アライアンス事業全般に関わる有益なご助言をいただき、たいへん有意義な意見交換が交わされた。

大阪大学産業科学研究所・田中秀和教授の閉会挨拶で報告会は終了し、その後、同ホールロビーで懇親会が開催された。九州大学先導物質化学研究所・高原淳所長の開会挨拶、北海道大学電子科学研究所・西井準治所長の乾杯により始まり、産業界有識者6名の方から講評を含めたご挨拶をいただいた。懇親会の最後には、大阪大学産業科学研究所・八木康史所長の挨拶をもって閉会した。

今回のアライアンス報告会では、共同研究実績の上がっている研究グループを中心として成果報告がなされ、着実な進展を印象づける会となった。また、いくつかのグローバル展開活動も紹介され、共同研究の輪がさらに広がってきている現況が共有された。



開会の辞
九州大学先導物質化学研究所
高原淳所長



来賓挨拶
九州大学
若山正人理事



ポスターセッション



集合写真